



白子高校探究学習 2025 地域連携プロジェクト一覧

当プロジェクトは鈴鹿ではたらこっ！プロジェクトを主催する鈴鹿市と、事業を運営する一般社団法人わくわくスイッチがサポートしています。


1 ①食べるって楽しい！高校生が保育園の食育企画を提案！ ②保育園から小学校にスムーズに移行するには

団体名	社会福祉法人ながさわ保育会 ながさわ保育園	
活動内容 (例)	<p>①・ながさわ保育園の取り組み・理念について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する最新情報や取り組みを調査 ・食えることが好きになるための取り組みについて提案 <p>②・ながさわ保育園の取り組み・理念について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領／保育指針／中央教育審議会等の資料から調べる ・課題抽出・解決案の提案 	





2 高校生目線で考える！施設利用者のレクリエーション企画・提案

団体名	村瀬病院グループ
活動内容 (例)	<p>1. 施設について 当グループの施設について、スライドで利用者さんのデイサービスでの様子を見て、職員の話を通して現場を学ぶ</p> <p>2. 企画立案 施設について得た学びをもとに、高齢者向けのレクリエーションを企画・立案する</p> <p>3. シミュレーション・実行(有志で実行することも可能です) 立案した企画をもとに教室で実際の進行を確認し、役割分担や声かけ方法などを行う 企画したレクリエーションを施設で実施し、高齢者のかたに楽しんでもらう！</p>


3 カーディーラーの集客アップ企画！お客さんも地域も笑顔にするアイデアを形にしよう

団体名	株式会社ホンダ四輪販売三重北	
活動内容 (例)	<p>①店舗の来場者数を増やすには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者アップの企画・PR方法を考える→提案 <p>②感謝祭イベントの来場者数を増やすには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの来場者数を増やすためのイベントコンテンツの企画・PR方法を提案(従来:マジックショー、ダンス、子ども縁日) <p>★内容次第で実現の可能性あり！有志によるイベントのお手伝いも歓迎</p>	


4 クリスマスケーキ予約 500個獲得を目標にしクリスマス商戦を勝ち取ろう！！

団体名	株式会社オークワ		
活動内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・オークワの取り組み、食へのこだわりについて理解する。 ・クリスマスケーキの予約について市場調査(アンケート等) ・どんなケーキを販売し、どのように宣伝し、当日はどんな売り場を作るのか検討。 ・提案 		
備考	・文字は出来るだけ少なくし、イラスト中心で作成。		

5 未来の住まいを広めよう！ファミリー世代がときめく広報戦略を企画

団体名	株式会社とわの巧創(こうそう)	 株式会社とわの巧創 〒105-8501 東京都港区 三軒茶屋駅前ビル4階407号室222-05 TEL:03-5561-7070
活動内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・注文住宅業界や、とわの巧創のこだわりや強味を理解する ・既存の広報活動について、課題のヒアリング ・ターゲット設定 ・認知度向上のためのプロジェクトを企画→提案 	
備考		

6 高校生の面白いアイディアで建設業界をイメージチェンジしよう！

団体名	イケダアクト株式会社	
活動内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業界の課題やイケダアクトについて理解する ・若者に刺さるコンテンツを検討／提案／制作 (企業テーマソング・ショート動画など) ・SNS等で情報を発信 	
備考		

グループ活動のグランドルール

探究学習は、「正解を出す場」というよりも「一緒に考え、新しい気づきを得る場」です。このグランドルールは、みんなが安心して話し合いに参加し、未来に役立つ力を育むためのものです。**学校の中だけでなく、将来の仕事や社会生活でもとても役立つスキル**につながります。ぜひ、意識してみましよう

1. 頭ごなしに否定しない

頭ごなしに「違う」と言うより、「こういう考え方もあるね」と建設的に返そう。協力して考える姿勢を大切に。

2. 全員が話す機会を持つ

誰もが自分の考えを出せるように。
「〇〇さんはどう思う？」という声かけをしよう。

3. 意見の違いを歓迎しよう

違う視点は新しい発見のチャンスです。
違いを楽しむことが、より深い学びや新たなアイデアが生まれるかも

4. 間違いを恐れない

正解を出すことよりも、自分の意見を話すことが大切。
たとえ失敗や間違いでも、そこから大事な学びがあることを実感しよう。

この授業を通して身に着けること

主体性を伸ばす

- ・企業の課題を「自分ごと」として捉え、受け身にならず積極的に取り組む
- ・「この課題をどうすればもっと良くてできるか？」と自分なりの視点で考える
- ・与えられた情報を待つのではなく、自ら調べ、質問し、学びを深める

課題解決力を身につける

- ・課題の背景や企業のニーズを理解し、ゴールを明確にする
- ・情報収集・分析 → 仮説立案 → 実行・検証 → 改善、というプロセスを意識する
- ・「相手にとって本当に価値がある解決策か？」を常に問い直す

巻き込む力をつける

- ・チームで協力し、役割分担や意見交換を大切にする
- ・自分たちのアイデアを、企業担当者やクラスメイトに分かりやすく伝える
- ・社会や地域に役立つ視点を持ち、関わる人を巻き込みながら提案を磨く

いずれも実社会で必要となる能力です。意識して取り組みましよう。